

平成 19 年度 事 業 報 告

．学園の状況

1．設置する学校の主な動き

大学では、前年度より（財）日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価（外部認証評価）の受審手続きを進め、平成 19 年 11 月に現地調査を受け、平成 20 年 3 月「当機構が定める大学評価基準を満たしている」との認定を受けました。

また、兼ねてより中部大学が主体となり国連大学に申請中であった「国連持続可能な開発のための教育（E S D）の 10 年」の推進拠点として中部地域が認定され、平成 19 年 10 月に正式に認定書が交付されました。今後大学として、全学的に E S D 事業に取り組み推進していくこととなりました。

学部・研究科の動きとしては、現代教育学部並びに国際人間学研究科に歴史学・地理学専攻の設置手続きを進め認可を受け、平成 20 年 4 月には、ワンキャンパスで 7 学部 23 学科、4 研究科 12 専攻の体制となりました。

教育面では、文部科学省の補助対象事業として、大型の教育設備（C A D , デジタルラボ装置）の更新並びにキャンパスネットワークの整備を進めました。また、未完成学部・学科（生命健康科学部、応用生物学部の食品栄養科学科）の学年進行に伴う設備の拡充を行いました。

研究面では、大学全体の研究をリードするヘッドクォーターとして、総合学術研究院を設置しました。東京大学との共同研究事業を主要なテーマとした「光機能薄膜研究センター」を設置するなど、大型の共同研究が発足し、本年度外部からの研究資金の受入は 241 件約 6 億円となっています。

高校では、中部大第一高の校舎耐震補強工事が 3 年目 期をもって完了しました。春日丘高では、第二校舎の空調設備など整備を行いました。

専門学校では、工業専門課程並びに商業実務専門課程の改編を進め、平成 20 年度から両課程の学生募集を停止いたしました。

2．学園収支の概要

学園全体の学生・生徒在籍者数は、11,522 名（前年度比 337 名の減少）となりました。大学で 150 名、その他の設置校で 187 名の減少です。

この結果、主たる収入となる学生生徒納付金は、12,606 百万円（前年度比 212 百万円の減少）になりました。補助対象事業の増加により補助金収入は 2,675 百万円（前年度比 104 百万円の増加）、受託研究による収入の増加やスクールバス（本年度より学園会計に移行）収入の算入により、事業収入は 656 百万円（前年度比 425 百万円の増加）などで、帰属収入の合計は 17,431 百万円（前年度比 187 百万円の増加）となりました。

一方、支出面では、人件費 10,164 百万円、教育研究費 6,151 百万円、管理経費 1,723 百万円などで、消費支出の合計は 18,259 百万円（前年度比 490 百万円の増加）となり、帰属収入と消費支出の差額は 828 百万円の支出超過となりました。新学部開設に伴う人件費の増加（前年度比 125 百万円の増）と受託研究費支出の増加（前年度比 78 百万円の増）並びにスクールバス会計の変更に伴う委託管理費支出の増加（前年度比 198 百万円の増）などが支出の大幅増加の要因です。

期中の施設・設備関係支出は 2,890 百万円で、その財源は諸積立金の取崩し 1,850 百万円、長期借入金 620 百万円、その他有価証券の一部売却などにより調達しました。なお、基本金組入後の消費収支差額は 2,993 百万円の支出超過となっております。

平成 18 年度開設の生命健康科学部並びに平成 20 年度開設の現代教育学部に係わる人件費をはじめとする経費の先行支出が収支面で大きな負担となっておりますが、当該両学部の学年進行による着実な学生数の増加及び大学既設学部をはじめ学園各設置校での学生・生徒数の安定確保により、収入基盤を強固なものとし、教育の充実に一段と努め、早期に財政収支の均衡をはかる所存です。

3. 当期に行った主な事業

【大 学】

(財)日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価(外部認証評価)を受審し、「当機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。

本学が主体となり国連大学に申請中であった「国連持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」の推進拠点として、中部地域が正式に認定された。

教育・研究体制の整備・充実

現代教育学部の設置が認可され、20年4月に開設した。

国際人間学研究科に歴史学・地理学専攻の設置が認可され、20年4月に開設した。

これによりワンキャンパスで7学部23学科、4研究科12専攻の体制となった。

総合学術研究院を設置した。(19年4月)

- 大学全体の研究をリードするためのヘッドクォーターとして -

光機能薄膜研究センターを設置した。(19年7月)

物品購入の検収センターを設置した。(19年4月)

教育活動の整備・充実

文部科学省の補助対象事業として、CAD教育設備、デジタルラボ装置の更新、キャンパスネットワークの拡充整備、恒温クリーンシステムの整備を実行した。

学年進行中の生命健康科学部、応用生物学部食品栄養科学科の創設備品を購入し、充実をはかった。

工学部の三学科(都市建設工学科・建築学科・応用化学科)が日本技術者教育認定機構(JABEE)の現地審査を受け、20年5月に「認定基準に適合している」と認定された。

ICカードによる学生証の導入及びそれに伴う出欠管理システムを構築し、20年4月より実施した。

研究活動の推進

外部からの研究資金の受入れは次のとおり。

奨学寄付金受入 88件 106百万円(前年度 70件 116百万円)

受託研究費受入 78件 345百万円(前年度 51件 110百万円)

科学研究費受入 75件 144百万円(前年度 68件 143百万円)

合 計 241件 595百万円(前年度189件 369百万円)

春日井キャンパスの環境整備

12号館(第一学生ホール)、24号館(学術情報センター)の耐震補強工事が終了した。

JR神領駅北口にバスターミナルを新設した。

地域社会貢献活動の推進

公開講座の開催 321回(前年度273回) 受講者数 7,142名(前年度5,319名)

テクノフェアなどの開催による研究シーズの紹介 58回(前年度51回)

【高 校】

中部大第一高 校舎耐震補強第二期工事が終了した。

春日丘高 第二校舎空調設備増設などの整備をした。

【専門学校】

工業専門課程の情報システム科を、機械・電子学科と統合した。(19年4月)

商業実務専門課程の秘書学科を医療事務総合学科と改称した。(19年4月)

工業専門課程並びに商業実務専門課程の学生募集を平成20年度より停止した。

II. 財務状況

1. 資金収支計算書

資金収支計算について、その主な内容をご報告します。

資金収支計算書

(収入の部)

(単位:百万円)

科目	決算額	前年度決算額	増減
学生生徒等納付金収入	12,606	12,818	△ 212
手数料収入	346	353	△ 7
寄付金収入	182	333	△ 151
補助金収入	2,675	2,571	104
資産運用収入	128	162	△ 34
資産売却収入	5,854	2,208	3,646
事業収入	656	231	425
雑収入	632	580	52
借入金等収入	865	1,063	△ 198
前受金収入	3,053	2,919	134
その他の収入	2,962	1,797	1,165
資金収入調整勘定	△ 3,789	△ 3,387	△ 402
前年度繰越支払資金	4,618	3,271	1,347
収入の部合計	30,788	24,919	5,869

主に大学経常費補助金配点基準改正に伴う増です。

有価証券による運用の増加に伴うものです。

受託事業収入の増加と大学スクールバス収入です。

施設関係支出に対応するための特定準備資産取り崩しにより多額となっています。

(支出の部)

(単位:百万円)

科目	決算額	前年度決算額	増減
人件費支出	10,165	10,070	95
教育研究経費支出	3,741	3,607	134
管理経費支出	1,443	1,181	262
借入金等利息支出	167	177	△ 10
借入金等返済支出	870	619	251
施設関係支出	1,570	1,359	211
設備関係支出	1,320	1,180	140
資産運用支出	4,741	1,606	3,135
その他の支出	588	819	△ 231
資金支出調整勘定	△ 290	△ 317	27
次年度繰越支払資金	6,473	4,618	1,855
支出の部合計	30,788	24,919	5,869

受託研究費の増加及び大型設備の整備充実に伴うものです。

スクールバス会計の移行に伴う委託管理費の増加等です。

新学部設置に伴う建設費用の増加により多額となっています。

主に新学部設置及びデジタルラボ、CAD設備の更新によるものです。

有価証券の運用に伴う増加です。(資産売却収入に見合うものです。)

2. 消費収支計算書

消費収支計算について、その主な内容をご報告します。

消費収支計算書

(収入の部) (単位:百万円)

科目	決算額	前年度決算額	増減
学生生徒等納付金	12,606	12,818	△ 212
手数料	346	353	△ 7
寄付金	210	395	△ 185
補助金	2,675	2,571	104
資産運用収入	128	162	△ 34
資産売却差額	30	8	22
事業収入	656	231	425
雑収入	780	706	74
帰属収入合計	17,431	17,244	187
基本金組入額合計	△ 2,165	△ 1,932	△ 233
消費収入の部合計	15,266	15,312	△ 46

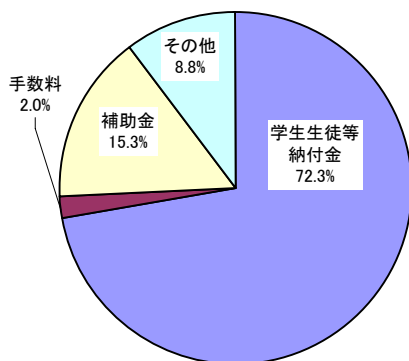
(支出の部) (単位:百万円)

科目	決算額	前年度決算額	増減
人件費	10,164	10,039	125
教育研究経費	6,151	5,991	160
管理経費	1,723	1,463	260
借入金等利息	167	177	△ 10
資産処分差額	51	96	△ 45
徴収不能引当金繰入額	3	3	0
消費支出の部合計	18,259	17,769	490
当年度消費支出超過額	2,993	2,457	536
前年度繰越消費支出超過額	18,262	15,805	2,457
翌年度繰越消費支出超過額	21,255	18,262	2,993

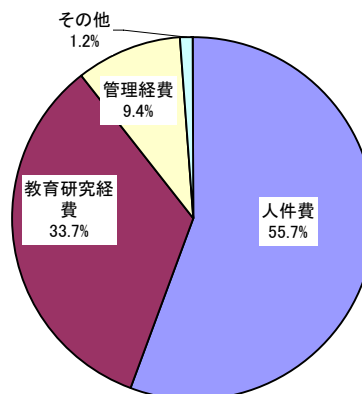
帰属収支差額	△ 828	△ 525	△ 303
--------	-------	-------	-------

帰属収入は前年度より187百万円増加しました。一方支出は人件費並びに教育研究経費及び管理経費の増加に伴い前年度より490百万円増加しました。この結果、帰属収支差額は支出超過となり、前年度比△303百万円となりました。

帰属収入の構成比率



消費支出の構成比率



3. 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告します。

貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
固 定 資 産	53,692	56,242	△ 2,550
有 形 固 定 資 産	46,725	46,397	328
そ の 他 の 固 定 資 産	6,967	9,845	△ 2,878
流 動 資 産	7,504	5,645	1,859
計	61,196	61,887	△ 691

新学部設置及び施設の改修・補強などの支出に対応するための特定準備資産の取り崩しによるものです。

主に現預金の増加です。

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

(単位:百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
固 定 負 債	11,146	11,232	△ 86
流 動 負 債	4,390	4,167	223
負 債 の 部 合 計	15,536	15,399	137
基 本 金 の 部	66,915	64,750	2,165
消 費 収 支 差 額 の 部	△ 21,255	△ 18,262	△ 2,993
計	61,196	61,887	△ 691

授業料等前受金の増加です。

主に一号基本金の増加です。

(単位:百万円)

純 資 産	45,660	46,488	△ 828
-------	--------	--------	-------

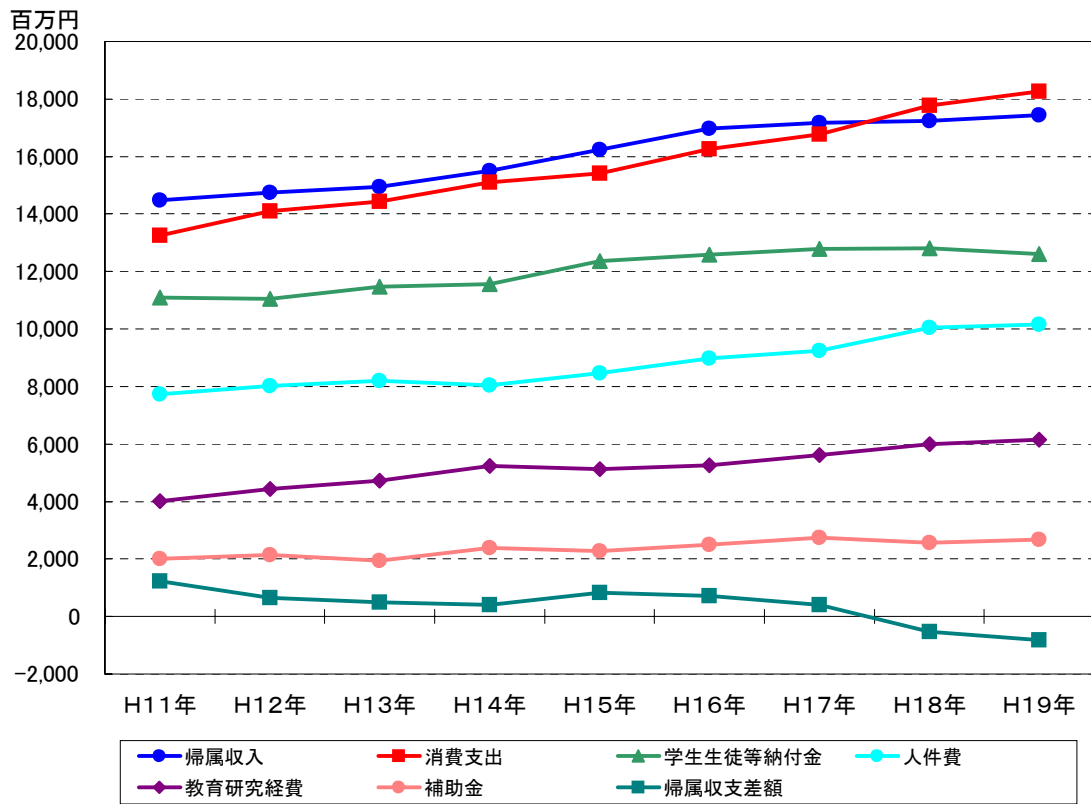
純資産=資産-負債(=基本金+消費収支差額)

(単位:百万円)

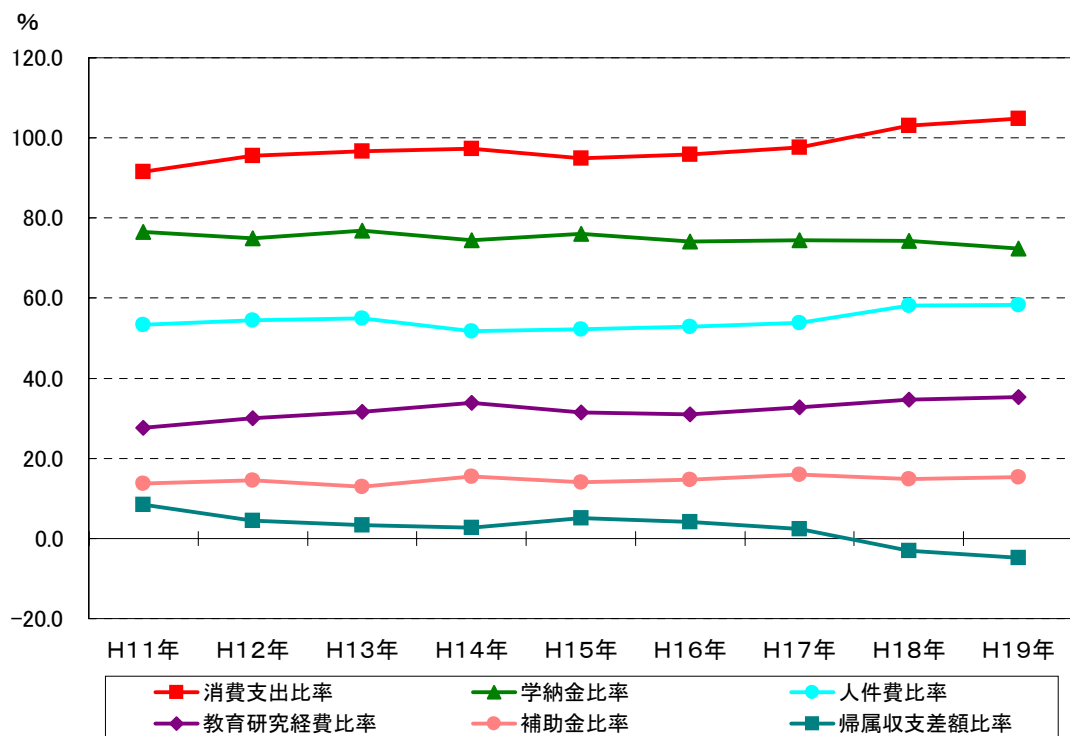
減 価 償 却 累 計 額	29,000	27,007	1,993
基 本 金 未 組 入 額	6,313	6,192	121

4. 財務状況並びに学生・生徒数、教職員数の推移

(1) 消費収支の推移



(2) 消費収支計算の財務比率の推移



(3) 学生・生徒数の推移

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
中 部 大 学	7,928	7,883	8,105	8,238	8,564	8,615	8,609	8,616	8,466
大 学 院	174	191	196	215	238	243	284	315	296
工 学 研 究 科	140	152	150	153	159	171	175	168	164
経 営 情 報 学 研 究 科	23	25	28	28	31	19	27	37	41
国 際 関 係 学 研 究 科	11	14	18	34	48	33	10	6	3
国 際 人 間 学 研 究 科	—	—	—	—	—	20	35	41	37
応 用 生 物 学 研 究 科	—	—	—	—	—	—	37	63	51
大 学	7,754	7,692	7,909	8,023	8,326	8,372	8,325	8,301	8,170
工 学 部	4,919	4,734	4,590	4,367	4,273	4,046	3,826	3,548	3,299
経 営 情 報 学 部	1,258	1,221	1,175	1,199	1,250	1,220	1,204	1,158	1,144
国 際 関 係 学 部	1,000	892	775	755	733	704	702	665	576
人 文 学 部	549	810	1,052	1,139	1,254	1,377	1,535	1,640	1,677
応 用 生 物 学 部	—	—	281	533	779	992	1,033	1,119	1,158
生 命 健 康 科 学 部	—	—	—	—	—	—	—	147	316
留 学 生 別 科	28	35	36	30	37	33	25	24	—
中 部 大 学 第 一 高 等 学 校	1,182	1,005	915	860	976	1,051	1,115	1,002	952
春 日 丘 高 等 学 校	1,326	1,259	1,195	1,134	1,250	1,399	1,534	1,435	1,375
春 日 丘 中 学 校	336	335	322	287	300	327	363	389	389
中 部 大 学 技 術 医 療 専 門 学 校	408	447	422	412	491	494	473	417	340
合 計	11,180	10,929	10,959	10,931	11,581	11,886	12,094	11,859	11,522

(4) 教職員数(専任)の推移

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
中 部 大 学	445	443	465	468	487	515	541	600	635
中 部 大 学 第 一 高 等 学 校	64	63	62	62	60	59	57	59	58
春 日 丘 高 等 学 校	76	80	83	82	85	87	84	84	86
春 日 丘 中 学 校	17	24	25	22	20	21	23	25	26
中 部 大 学 技 術 医 療 専 門 学 校	22	21	23	20	24	21	23	23	24
合 計	624	631	658	654	676	703	728	791	829

* 1 * 2 * 3 * 4 * 5 * 6 * 7

- * 1 工学部・情報工学科開設
- * 2 応用生物学部開設
- * 3 人文学部・心理学科、経営情報学部・経営学科開設
- * 4 人文学部・歴史地理学科開設
- * 5 応用生物学部・食品栄養科学科開設
- * 6 生命健康科学部開設
- * 7 現代教育学研究所設置

Ⅲ. 法人の概要

1. 設置する学校の現況

(単位:名)

学 校 名	平成19年度 入 学 定 員	平成19年度 入 学 者 数	平成19年度 収 容 定 員	学 生 数 (19. 5. 1 現在)	学 生 数 (20. 5. 1 現在)
中 部 大 学	2,213	2,263	7,835	8,466	8,746
大 学 院	168	138	365	296	262
工 学 研 究 科	82	75	190	164	142
経 営 情 報 学 研 究 科	38	22	79	41	35
国 際 関 係 学 研 究 科	—	—	—	3	1
国 際 人 間 学 研 究 科	18	16	42	37	34
応 用 生 物 学 研 究 科	30	25	54	51	50
大 学	2,045	2,125	7,470	8,170	8,484
工 学 部	730	819	2,965	3,299	3,135
経 営 情 報 学 部	260	308	940	1,144	1,214
国 際 関 係 学 部	160	105	660	576	520
人 文 学 部	425	409	1,535	1,677	1,720
応 用 生 物 学 部	270	310	970	1,158	1,236
生 命 健 康 科 学 部	200	174	400	316	521
現 代 教 育 学 部	—	—	—	—	138
中 部 大 学 第 一 高 等 学 校	430	308	1,290	952	885
春 日 丘 高 等 学 校	572	477	1,716	1,375	1,374
春 日 丘 中 学 校	120	118	360	389	352
中 部 大 学 技 術 医 療 専 門 学 校	180	89	550	340	226
合 計	3,515	3,255	11,751	11,522	11,583

(注1)大学には3年次編入並びに大学院修士課程、博士課程を含む。

(注2)学校基本調査に基づき計上。ただし20年5月在籍者数は学校法人基礎調査に基づいています。

2. 設置校所在地

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
中 部 大 学	〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地	(0568)51-1111
中 部 大 学 第 一 高 等 学 校	〒470-0101 愛知県日進市三本木町細廻間425番地	(0561)73-8111
春 日 丘 高 等 学 校	〒487-8501 愛知県春日井市松本町1105番地	(0568)51-1131
春 日 丘 中 学 校	〒487-8501 愛知県春日井市松本町1105番地	(0568)51-1115
中 部 大 学 技 術 医 療 専 門 学 校	〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目14番22号	(052)251-8551

3. 主な施設設備の現況

		大学	第一高	春日丘高	春日丘中	専門学校	法人	計
土地	簿価(円)	2,760,475,015	593,275,140	269,907,534	50,087,845	17,439,969	291,496,015	3,982,681,518
	面積(m ²)	604,088.87	20,259.13	45,158.00	10,415.00	1,917.00	151,447.26	833,285.26
建物	簿価(円)	22,667,080,199	1,227,069,434	1,219,864,406	587,402,656	426,651,236	340,799,197	26,468,867,128
	面積(m ²)	167,913.56	16,405.94	15,392.73	4,018.98	7,005.73	3,205.66	213,942.60
構築物	簿価(円)	3,617,848,910	132,921,765	146,671,677	52,286,889	3,592,029	145,329,529	4,098,650,799
教育研究用 機器備品	簿価(円)	5,792,158,713	40,044,112	22,654,012	2,322,331	57,647,192	79,996,395	5,994,822,755
	点数(点)	17,784	770	1,864	953	501	568	22,440
その他の 機器備品	簿価(円)	158,317,010	629,496	486,506	130,388	677,289	46,647,143	206,887,832
	点数(点)	703	3	3	1	10	106	826
図書	簿価(円)	4,864,411,859	37,377,426	61,398,544	25,730,339	16,329,160	4,199,919	5,009,447,247
	冊数(冊)	560,393	21,749	19,699	8,047	3,586	1,667	615,141
車両	簿価(円)	12,295,610					2	12,295,612
	台数(台)	11					2	13
建設仮勘定	残高(円)	167,008,500	2,656,500			1,960,350	779,160,750	950,786,100

4. 教職員(専任)の現況

		平成19年5月1日現在			平成20年5月1日現在		
		教員	職員	計	教員	職員	計
大学	専任	412名	165名	577名	446名	167名	613名
	非常勤	357名	73名	430名	379名	75名	454名
中部大第一高	専任	50名	8名	58名	52名	8名	60名
	非常勤	27名	9名	36名	25名	15名	40名
春日丘高	専任	78名	8名	86名	81名	8名	89名
	非常勤	29名	7名	36名	35名	10名	45名
春日丘中	専任	25名	1名	26名	22名	1名	23名
	非常勤	6名	2名	8名	7名	2名	9名
専門学校	専任	20名	4名	24名	17名	3名	20名
	非常勤	52名	4名	56名	57名	2名	59名
三浦記念会館	専任	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	非常勤	0名	0名	0名	0名	0名	0名
法人	専任	0名	48名	48名	0名	53名	53名
	非常勤	0名	3名	3名	0名	3名	3名
渉外	専任	0名	10名	10名	0名	12名	12名
	非常勤	0名	0名	0名	0名	0名	0名
計	専任	585名	244名	829名	618名	252名	870名
	非常勤	471名	98名	569名	503名	107名	610名

教育技術職員(大学46名、両高校3名)

教育技術職員(大学46名、両高校2名)

学校法人 中部大学 理事長 大西良三

法人本部 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 (0568)51-1111